

平成 22 年度 決算 に 係る  
定 期 監 査 調 書

平成 23 年 6 月

鳥取県男女共同参画センター

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	2頁
6	主な事業に関する調べ	3頁
7	収入証紙取扱額調べ	7頁
8	収入事務処理状況調べ	7頁
9	収入未済額調べ	7頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	7頁
11	不納欠損額調べ	7頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	8頁
13	工事請負費調べ	12頁
14	財産に関する調べ	12頁
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12頁
16	借受不動産明細調べ	12頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12頁
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	12頁
19	寄附物件の受納状況調べ	12頁
20	備品の処分状況調べ	12頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13頁
22	普及啓発・人材育成事業等の概要	14頁
23	情報収集・提供事業の概要	16頁
24	相談事業等の概要	17頁
25	活動・交流の支援の概要	17頁
26	鳥取県男女共同参画推進員申出	19頁
27	意見、要望等	20頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況 該当なし

3 組織及び業務調べ

局（所）名	係（担当）名	課の主な所掌事務
男女共同参画センター		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男女共同参画社会の形成に関する情報の収集及び提供に関すること。</li> <li>・ 男女共同参画社会の形成に関する講習会の開催及び指導者の育成に関すること。</li> <li>・ 男女共同参画社会の実現を目的とした団体及び個人に対する活動拠点の提供並びにこれらの相互の交流及び連携に関すること。</li> <li>・ 性別による差別的な取扱いその他男女共同参画社会の形成を阻害する要因となっている問題に係る相談に関すること。</li> <li>・ 男女共同参画推進員事務局</li> </ul>

4 職員の定員、現員調べ

（平成23年4月1日現在）

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	
定員	4	5					4	5	所長1 次長兼企画員1 企画員2（課長補佐級1、係長級1）
現員	4	5					4	5	
過不足(△)	0	0					0	0	
臨時職員	0	0					0	0	
非常勤職員	10	10					10	10	アドバイザー1 専門員1 相談員6 非常勤（事務）2

5 役付職員の調べ

(平成23年6月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
所長	大西 孝弘		1 1	
次長兼企画員	奥田 益春	2	2	出納員
企画員	石井 宏美	2	2	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要																																			
<p>共同参画時代の 自分磨きセミナー</p> <p>決算額 998千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 353千円 一般財源 645千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 今まであまり男女共同参画について学習する機会がなかった人たちが、興味を持って参加できるような場をつくることで、理解者の裾野拡大を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 年間(9月～2月)をとおして6回のセミナーを開催した。 6回のうち3回分は鳥取県男女共同参画をすすめるネットワークに委託した。 開催場所は県内東・中・西部。</p> <table border="1" data-bbox="395 595 1497 1294"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>講師</th> <th>会場</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>まちの元気は、私の一歩から～居心地のいいみんなの場所～</td> <td>紀平容子さん(NPO法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会代表)他4名</td> <td>米子ふれあいの里</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>出会っちゃオ</td> <td>しゃべり場のファシリテーター他8名</td> <td>鳥取ガスグループショールーム</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>おしえて、先輩～働くってたのしいですか～</td> <td>福井正樹さん(鳥取県男女共同参画センター運営協議会会長)</td> <td>鳥取大学地域学部棟</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>新春スペシャル大パノラマシンポジウム～市町村の女性議員が語る～</td> <td>吉田秀光さん(三朝町長)他県内市町村女性議員11名</td> <td>倉吉交流プラザ</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>あったか介護大作戦～お知恵拝借、男性介護応援団～</td> <td>斎藤真緒さん(立命館大学准教授)他4名</td> <td>米子ふれあいの里</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>いろいろな仕事と働き方、わたしのバランス～たとえば、農業～</td> <td>安倍澄子さん(社団法人農山漁村女性・生活活動支援協会調査研究課長)他4名</td> <td>倉吉未来中心</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>※○数字は、鳥取県男女共同参画をすすめるネットワークへの委託分</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 男女共同参画センターが担当するセミナーについて、鳥取大学、農林総合研究所と企画段階から連携、協働しながらすすめた。</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催したセミナーの中には、今まで当センターで取り上げることの少ない分野のもの(男性の介護、出会い等)もあり、男性、若年層の参加者が多くあった。</li> <li>・鳥取大学で開催したセミナーは、参加者は少なかったものの大学との連携の糸口となり、来年度以降の連携が見込める。</li> <li>・セミナーのテーマに関心のありそうな開催場所周辺地域に事務所を構えるNPO法人に重点的にチラシを送付した結果、当センターのセミナーに参加したことがない方の参加があった。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が少なかったことが最大の反省材料。テーマにより対象者を絞った広報が必要。参加対象者の参加しやすい曜日・日時をリサーチし設定する必要がある。</li> <li>・100名規模のセミナーのみではなく、テーマによっては30名規模のセミナーを数回開催するなど、参加対象者によって柔軟な開催を検討する必要がある。</li> </ul>	回	テーマ	講師	会場	参加者	1	まちの元気は、私の一歩から～居心地のいいみんなの場所～	紀平容子さん(NPO法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会代表)他4名	米子ふれあいの里	35	②	出会っちゃオ	しゃべり場のファシリテーター他8名	鳥取ガスグループショールーム	59	3	おしえて、先輩～働くってたのしいですか～	福井正樹さん(鳥取県男女共同参画センター運営協議会会長)	鳥取大学地域学部棟	13	④	新春スペシャル大パノラマシンポジウム～市町村の女性議員が語る～	吉田秀光さん(三朝町長)他県内市町村女性議員11名	倉吉交流プラザ	100	⑤	あったか介護大作戦～お知恵拝借、男性介護応援団～	斎藤真緒さん(立命館大学准教授)他4名	米子ふれあいの里	80	6	いろいろな仕事と働き方、わたしのバランス～たとえば、農業～	安倍澄子さん(社団法人農山漁村女性・生活活動支援協会調査研究課長)他4名	倉吉未来中心	70	
回	テーマ	講師	会場	参加者																																	
1	まちの元気は、私の一歩から～居心地のいいみんなの場所～	紀平容子さん(NPO法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会代表)他4名	米子ふれあいの里	35																																	
②	出会っちゃオ	しゃべり場のファシリテーター他8名	鳥取ガスグループショールーム	59																																	
3	おしえて、先輩～働くってたのしいですか～	福井正樹さん(鳥取県男女共同参画センター運営協議会会長)	鳥取大学地域学部棟	13																																	
④	新春スペシャル大パノラマシンポジウム～市町村の女性議員が語る～	吉田秀光さん(三朝町長)他県内市町村女性議員11名	倉吉交流プラザ	100																																	
⑤	あったか介護大作戦～お知恵拝借、男性介護応援団～	斎藤真緒さん(立命館大学准教授)他4名	米子ふれあいの里	80																																	
6	いろいろな仕事と働き方、わたしのバランス～たとえば、農業～	安倍澄子さん(社団法人農山漁村女性・生活活動支援協会調査研究課長)他4名	倉吉未来中心	70																																	

事業名	概	要
<p>まちを元気にする女性塾</p> <p>決算額 441千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 441千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 女性の視点や能力を生かした地域づくりを推進するため、特に今まで男女共同参画の取組みが進みにくかった地域へ、男女共同参画センターの情報等を伝えることにより、女性のエンパワメントとリーダー育成を図る。 県内3地域の団体へ委託し、団体、所在地市町村、男女共同参画センターの三者で協働して企画運営に当たる。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>① 若桜こまち一斉「若桜の”輪”プロジェクト」 〔1回目〕「すずっこ踊り講習会」10/23 若桜ふれあい広場 22人 講師：チーム満天星 〔2回目〕「地域活性化の秘訣」11/14 若桜公民館 30人 講師：森和美(株「赤瓦」取締役) 〔3回目〕「一点突破で地域ブランドを生み出す!」1/10 ゆうゆうわかさ15人 講師：遠藤彰(琴浦グルメストリート仕掛け人)15人</p> <p>② 倉吉市男女共同参画推進会議「倉吉のあすをつくる女性塾」 〔1回目〕「女性のエンパワメント」11/25 倉吉交流プラザ 60人 講師：南部真知子(株神戸クルーザー(株)コンチェルト代表取締役) 〔2回目〕「まちを元気にする男女共同参画」1/30 倉吉交流プラザ 80人 講師：細見三英子(元産経新聞記者) 〔3回目〕「地域での女性登用」3/19 倉吉交流プラザ 40人 講師：江原修(琴浦町副町長)</p> <p>③ 日野郡男女共同参画連絡会「踏み出そう私から つながろうあなたと」 〔1回目〕「まちの活性化のための女性参画の必要性」 12/12 島根県立男女共同参画センターあすてらす 30人 講師：福間祐子((財)しまね女性センター男女共同参画専門員) 〔2回目〕「石見のまちづくりに学び、わたしたちにできること」2/20 会員による研修(ワークショップ)日野総合事務所 50人</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・新規事業</p> <p>ウ 成果 ・女性の地域おこし、まちづくりに対する関心意欲が高まった。 ・思いはあっても、今までまちづくりをどのように進めたらいいかわからなかった団体が、計画立案し、取組みを進めていく方法を知ることができた。 ・関係者同士の連携が深まった。 ・関係者以外の住民へも参加を呼びかけ、住民への広がりがあった。</p> <p>エ 課題 ・連携の広がりはあったが、地域活性化の具体的な動きまで進めることはできなかった。さらに企画実現へ向かうための継続的な展開が必要である。 ・審議会委員の女性登用率アップについては長期にわたって見守る必要がある。 ・今年度実施した地域以外に取組みが進んでいない地域があり、引き続き事業を継続し、当該市町村で団体育成や男女共同参画の取組みを支援していく必要がある。</p>	

事業名	概	要
県民企画による人材育成協働事業 決算額 432千円 (財源内訳) 一般財源 432千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的            民間の発想、専門性、経験、ネットワークを生かし、男女共同参画を推進することのできる多様な人材を養成する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況            優れた企画を提示した団体へ実施を委託し、男女共同参画センターと協働で事業を行う。</p> <p>① ママプロデュースとっとり「ママたちのホップ・ステップ・ジャンプ」            講師：松下香寿美（人材育成コンサルタント）会場：県立武道館（米子市）            [1回目]【ホップ：自分再発見】 10/17 参加者 31人            [2回目]【ステップ：コーチング】 11/13 参加者 30人            [3回目]【ジャンプ：ライフデザイン】 12/10 参加者 25人</p> <p>② FT（ファシリテーション）とっとり「男女共同参画を推進するファシリテーター養成講座」            ※ファシリテーターとは、参加者の心の動きや状況を見ながら実際にプログラムを進行していく人            [1回目]【基礎整理編】 10/11「男女共同参画のいままでとこれから」            会場：上灘公民館 参加者：15人            講師：福井正樹（鳥取県男女共同参画運営協議会会長）            同：山崎美穂（伯耆町男女共同参画審議会会長）            [2回目]【プログラム作成編】 10/24「作ってみよう！やってみよう私たちの男女共同参画一まちを元気にする男女共同参画」            会場：鳥取市人権交流プラザ（鳥取市幸町）参加者：12人            講師：栗本敦子（えふらぼ代表）            [3回目]【プログラム構成編】 11/27「作ってみよう！やってみよう私たちの男女共同参画Part2」            会場：鳥取市人権交流プラザ 参加者 5人            [4回目]【プログラム実践編】 1/11「やってみました！私たちのプログラムーこれが私の生きる道」            会場：鳥取市人権交流プラザ 参加者 15人</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点            ・新規事業</p> <p>ウ 成果</p> <p>[ママたちのホップ・ステップ・ジャンプ]            ・自分のキャリアを振り返り、自己分析等のワークを通し、子育てのために仕事を離れた女性が、再び就職等で社会へ踏み出す勇気や自信を持つことができた。            ・参加者同士のネットワークが広がり新たな団体育成や事業展開につながる可能性がある</p> <p>[男女共同参画を推進するファシリテーター養成講座]            ・男女共同参画を進めるにあたり、基本的な事柄や重要なポイントを理解し、プログラム立案に当たることができた。            ・実際に作成したプログラムにより、住民対象に講座を実施することができた。</p> <p>エ 課題</p> <p>[ママたちのホップ・ステップ・ジャンプ]            ・西部に引き続き、中部、東部での開催が望まれる。</p> <p>[男女共同参画を推進するファシリテーター養成講座]            ・作成したプログラムの内容の充実と実践の積み上げが必要である。</p> <p>[その他]            ・課題となっている人材不足を改善するために、新たな団体の発掘が必要である。</p>	

事業名	概	要												
<p>女性の相談にかかわる相談員等のための基礎講座</p> <p>決算額 421千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 421千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 女性の相談にかかわることの多い相談員や相談活動をしている者のうち、初心者や経験年数が浅い者を対象に、男女共同参画の視点に立って、よりよい相談・支援ができるよう資質向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>① 開催日・会場及び参加者 (3会場とも同じ内容、10:00~16:00、定員各30名)</p> <table border="0"> <tr> <td>・東部会場</td> <td>平成22年10月4日(月)</td> <td>とりぎん文化会館</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>・西部会場</td> <td>" 10月5日(火)</td> <td>米子コンベンションセンター</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>・中部会場</td> <td>" 10月7日(木)</td> <td>倉吉未来中心</td> <td>32人</td> </tr> </table> <p>② 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「男女共同参画の視点に立った相談の意義と役割」 ～現代社会と女性の抱える問題～ <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画の視点に立った相談の意義とあり方</li> </ul> </li> <li>・演習「相談対応演習」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談の実際 グループワークによる事例検討とロールプレイ</li> <li>・相談員のセルフケア</li> </ul> </li> <li>・講師 市場恵子さん (大学社会心理学講師。カウンセラー)</li> </ul> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権局と連携を図りながら、人権局は、「相談を受けるための基本的なスキル」、当センターは、「性差、性差別や固定的性別役割分担意識の解消に向けての認識をもって相談に対応できるスキル」を中心というように、役割分担して対応した。</li> </ul> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員を超える申し込みがあったため、講師の理解を求め、できる限り受け入れた。多くの希望者に研修の機会を提供できた。</li> <li>・ジェンダーの視点を交えながら、非常に分かりやすい内容で、多くのヒントや気づきが生まれ、受講者にも満足度の高い講座となった</li> <li>・近年相談者のセルフケアが課題となっているが、講義の内容や参加者同士の交流によって、参加者自身が自分自身を客観的にとらえたり、自信への洞察を深めることなどのエンパワメントを図ることができた。</li> <li>・身近な例によるジェンダーチェック等を通して、ジェンダーへの気づきやジェンダーが女性相談に影響していること等ジェンダーの視点が理解された。 ※ジェンダーチェックとは、固定的性別役割分担意識のチェックのこと。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座に対する需要が大きく、かつ、県全体の相談体制の底上げを図る上でも、継続して実施することが重要である。また、効果的・効率的に事業を行うためには、今後も、人権局が行う相談員講座との連携・調整が必要である。</li> </ul>	・東部会場	平成22年10月4日(月)	とりぎん文化会館	41人	・西部会場	" 10月5日(火)	米子コンベンションセンター	34人	・中部会場	" 10月7日(木)	倉吉未来中心	32人	
・東部会場	平成22年10月4日(月)	とりぎん文化会館	41人											
・西部会場	" 10月5日(火)	米子コンベンションセンター	34人											
・中部会場	" 10月7日(木)	倉吉未来中心	32人											



7 収入証紙取扱額調べ  
該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料 該当なし

(3) 手数料 該当なし

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入 該当なし

(6) 現金の取扱状況 該当なし

9 収入未済額調べ 該当なし

10 未回収回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

1.2 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ  
 (1) 負担金

(平成23年2月28日現在)  
 (単位:円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
企画総務費	1,618,000 円	未来中心保守点検業務 等委託費用負担金	(財)鳥取県文化振興財団 鳥取県立倉吉未来中心	0.22% ~ 3.27%	22.6.25他	1,062,560 円	鳥取県立未来中心等 の管理運営費につい ての覚書	管理面積按分
企画総務費	373,000	施設管理に関する委託 料等負担金	(財)とっとりコンベンションビ ル	16.9%	22.11.22	373,000	観光政策課、交流推 進課、消費生活センタ ー、男女共同参画推進課 との管理運営経費に ついての覚書	管理面積按分
支出額が10万 円未満のもの						2,000		鳥取県図書館協会年 間費
目計								
合計						1,437,560		

(2) 補助金

予算科目 ( 企画総務費 )

① 国 補 分 該当なし

(平成23年2月28日現在)

② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称 (補助金の創設年度)	交 付 先 間 接	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画承認 又は内示年月日	着 手 年月日	額の確定 年月日	支 出 の 状 況			備 考
			交付申請 年月日	完 了 年月日	検 査 年月日	概算払 精算払 の別	支 出 年月日	金 額	
			交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
男女共同参画団体活動支援補助金 (20年度)	ペア・エン ジェル	円 100,000	22.7.25	—		概	22.9.17	円 100,000	未完了
県内で活動する団 体が行う男女共同 参画に関する普及 啓発事業及び関連 事業で先駆的な取 り組みを補助する (公募により選定)		(補助率: 10/10 100,000	22.8.21	—					
		22.9.9							
男女共同参画団体活動支援補助金 (20年度)	しあわせの たね	円 100,000	22.7.25	—		概	22.9.17	円 100,000	未完了
県内で活動する団 体が行う男女共同 参画に関する普及 啓発事業及び関連 事業で先駆的な取 り組みを補助する (公募により選定)		(補助率: 10/10 100,000	22.8.21	—					
		22.9.9							
男女共同参画団体活動支援補助金 (20年度)	自己プロデ ュース会議 鳥取	円 100,000	22.7.25	—		概	22.10.14	円 100,000	未完了
県内で活動する団 体が行う男女共同 参画に関する普及 啓発事業及び関連 事業で先駆的な取 り組みを補助する (公募により選定)		(補助率: 10/10 100,000	22.9.29	—					
		22.10.8							
単 県 分 計								300,000	
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の( )書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記載する場合の( )書きは補助金相当額である。								

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成23年2月28日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約年月日 契約額	契約 期間			支出 年月日	支出 区分	金額	
企画総務費	単県	図書館システム/7 トワエ7保守委託 料	(株)富士通中 国システム鳥取 事業所長	(22.4.1) 378,000	22.4.1 ~ 23.3.31	22.3.25 (免除) 随	22.4.30 他 22.4.30 他	精 22.5.20 他		315,000		
企画総務費	単県	図書情報提供 サービス業務委 託料	(株)富士通中 国システム鳥取 事業所長	(22.4.1) 630,000	22.4.1 ~ 23.3.31	22.3.25 (免除) 随	22.4.30 他 22.4.30 他	精 22.5.20 他		525,000		
企画総務費	単県	平成22年度共 同参画時代の 自分磨きセミナー	鳥取県男女共 同参画をすす めるネットワーク	(22.11.4) 570,000	22.11.4 ~ 23.3.31	22.10.21 (免除) 随	未完了 未完了	前 22.11.17 他		570,000		
企画総務費	単県	平成22年度県 民企画による 人材育成協働 事業業務委託	ママプロデュ ースとっとり	(22.8.26) 200,000	22.8.26 ~ 23.1.31	22.7.6 (免除) 随	23.1.31 23.2.26	前 22.11.17 他		200,000		
企画総務費	単県	平成22年度県 民企画による 人材育成協働 事業業務委託	F Tとっとり	(22.9.28) 200,000	22.9.29 ~ 23.1.31	22.7.6 (免除) 随	23.1.31 未完了	前 22.11.17 他		200,000		
予定価格が20万 円未満のもの										160,000	平成22年度まちを元 氣にする女性塾事業 (若桜町)	

予算科目 (目)	国補 単果 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				当 予 定 価 格	契 約 契 約 年 月 日 契 約 額 契 約 期 間				支 出 区 分	支 出 年 月 日	金 額	
					変 更 契 約 契 約 年 月 日 契 約 額 契 約 期 間	契 約 契 約 年 月 日 契 約 額 契 約 期 間						
予定価格が20万 円未満のもの											160,000	平成22年度まを元 気にする女性塾事業 (日野郡)
"											160,000	平成22年度まを元 気にする女性塾事業 (倉吉市)
目計												
合計											2,290,000	

13 工事費調査 該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成23年2月28日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 49,155	円 94,720	円 93,210	円 50,665	(切手)@5:1枚@10:135枚@50:201枚 @80:115枚@100:1枚@120:206枚 @140:1枚 (葉書)@50:100枚@往100:1枚
収入印紙					なし
収入証紙					なし
タクシークーポン券					なし
鉄道バスプリペイドカード					なし
合 計	49,155	94,720	93,210	50,665	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成23年2月28日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
枚	枚	12枚	枚
44	0	14,840円	32

(3) 債 権 該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物 該当なし

(2) 物 品 該当なし

16 借受不動産明細調べ 該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ 該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ 該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(平成23年2月28日現在)

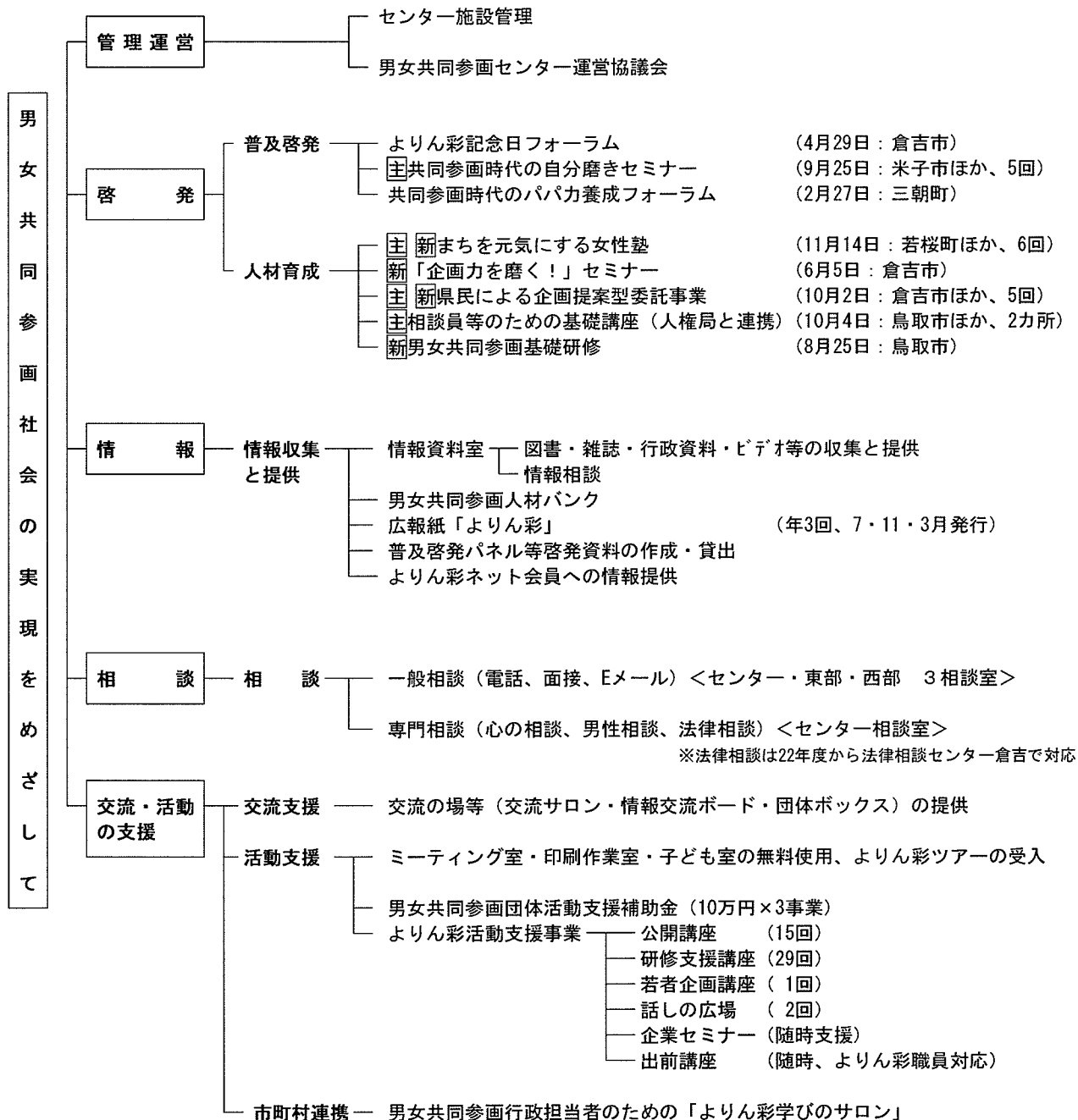
現金、有価証券又は物品名	数量	金額	出納員又は使用者職氏名	亡失、損傷年月日、時	同左場所	同左概要	報告年月日	会計局の審査結果
タクシードケット	1枚	—円	次長兼 企画員 奥田益春	平成22年 9月25日 以後	不明	当センター主催の講師に交付したタクシードケットについて、講師は、使用せず、亡失。	H23.4. 22	—
合計	1枚							

2.2 普及啓発・人材育成事業等の概要

(1) 事業実施概要

男女共同参画センター事業体系図（平成22年度・実績）

H23. 2. 28現在



※ **男女共同参画推進員事務局** 男女共同参画に関する苦情等の受付、審査を行う第三者機関（男女共同参画推進員）の事務局

注：主は、主な事業 新は、新規事業を示す。



## (2) 講座・セミナー等の開催状況

平成23年2月28日 現在

区分	開催回数				参加人数				主なセミナー・講座名
	平成22年度 2月末現在 (回)	平成21年度 2月末現在 (回)	増減数 (回)	増減率 (%)	平成22年度 2月末現在 (人)	平成21年度 2月末現在 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)	
普及啓発 関係	8	( 12 ) 11	△3	△27.3	654	(1,318) 1,228	△574	△46.7	よりん彩記念日フォーラム 主 共同参画時代の自分磨きセミナー 主 共同参画時代のパパカ養成フォーラム
人材育成 関係	16	( 6 ) 6	10	166.7	650	(205) 205	445	217.1	主 女性相談にかかわる相談員等 のための基礎講座 主 まちを元気にする女性塾 主 「企画力を磨く！」セミナー 主 県民による企画提案型委託事業 主 男女共同参画基礎研修
活動支援 事業関係	69	( 42 ) 39	30	88.9	3,935	(1,958) 1,579	2,356	149.2	
うち公開 講座	15	( 5 ) 7	8	114.3	1,548	( 687 ) 402	1,146	285.1	
うち研修 支援講座	29	( 15 ) 12	17	141.7	1,092	( 560 ) 466	626	134.3	
うち若者 企画講座	1	( 1 ) 1	0	0	16	( 22 ) 22	△6	△27.3	
うち話し の広場	2	( 4 ) 4	△2	△50.0	35	( 124 ) 124	△89	△71.8	
うち出前 説明	21	( 14 ) 14	7	50.0	1,094	( 436 ) 436	658	150.9	
うち企業 セミナー	1	( 1 ) 1	0	0	150	( 129 ) 129	21	16.3	
合計	93	( 60 ) 56	37	66.1	5,239	(3,484) 3,012	2,227	73.9	

注：主は、主な事業を示す。

## (3) 施設利用者数

平成23年2月28日 現在

区分	利用日数				利用人数			
	平成22年度 2月末現在 (日)	平成21年度 2月末現在 (日)	増減数 (日)	増減率 (%)	平成22年度 2月末現在 (人)	平成21年度 2月末現在 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
交流サロン	281	( 307 ) 281	0	0	16,520	(16,289) 15,001	1,519	10.1
印刷作業室	207	( 227 ) 202	5	2.5	610	( 714 ) 652	△42	△6.4
ミーティング室	177	( 192 ) 173	4	2.3	1,591	( 1,960 ) 1,759	△168	△9.6
子供室	267	( 292 ) 271	△4	△1.5	4,787	( 4,487 ) 4,069	718	17.6
相談室	110	( 157 ) 144	△34	△23.6	158	( 255 ) 232	△74	△31.9
計	1,042	( 1,175 ) 1,071	△29	△2.7	23,666	( 23,705 ) 21,713	1,953	9.0

※( )は、前年度の3月31日現在

23 情報収集・提供事業の概要

(1)事業実施概要

男女共同参画社会の形成に関する情報を幅広く収集、提供している。

- ア 情報資料室：①図書、ビデオ、行政資料、雑誌等の閲覧、貸出 ②図書の企画展示 ③情報相談
- イ インターネットパソコンの無料利用サービス
- ウ 男女共同参画人材バンク
- エ 広報紙の発行（2月末現在2回、年間3回予定）
- オ 啓発用パネルの貸出（随時）

(2)情報収集等の状況

平成23年2月28日 現在

区 分		平成22年度 2月末現在	平成21年度 2月末現在	増減数	増減率(%)
図 書 (一般・行政 郷土・児童)	資 料 数	10,397	( 9,893 ) 9,870	527	5.3
	貸 出 数	4,582	( 4,656 ) 4,394	188	4.3
雑 誌	資 料 数	1,792	( 1,676 ) 1,657	135	8.1
	貸 出 数	407	( 518 ) 499	△92	△18.4
映像資料	資 料 数	423	( 413 ) 415	8	1.9
	貸 出 数	235	( 212 ) 203	32	15.8
合 計	資 料 数	12,612	( 11,982 ) 11,942	670	5.6
	貸 出 数	5,224	( 5,386 ) 5,096	128	2.5
利用登録者数(人)		2,063	( 1,837 ) 1,823	240	13.2
企画展示の開催回数(回)		13	( 8 ) 7	6	85.7
情報相談の件数		262	( 175 ) 165	97	58.8
男女共同参画人材バンク 登録者数(人)		94 《 3 》	(91《 1 》) 90 《 0 》	4 《 3 》	4.4 《 300 》

※( )は、前年度の3月31日現在  
《 》は、当該年度の新規登録者数で内書

24 相談事業等の概要

(1)事業実施概要

相談室	所在	実施日	相談員	相談内容
センター	倉吉未来中心内	火～日曜日	2名	一般相談、専門相談
東部相談室	県庁第2庁舎1階	月～金曜日	"	一般相談
西部相談室	米子コンパソションセンター4階	月～金曜日	"	一般相談

専門相談

専門相談名	法律相談	心の相談	男性相談
相談員	弁護士	女性の臨床心理士	男性の臨床心理士

(2)相談員の配置状況

相談統括・・・常勤職員 1名（次長兼企画員）

相談員・・・非常勤職員 6名（センター、東部、西部相談室に各2名ずつ配置）

専門相談員・・・法律相談 弁護士（毎週土曜日 午前9時30分～正午）法律相談センター倉吉  
心の相談 臨床心理士

（第1・3水曜日午前9時～正午、第2・4水曜日 午後2時～5時）

男性相談 臨床心理士（第1土曜日午後3時～6時）

(3)相談件数

平成23年2月28日 現在

区分	平成22年度(2月末現在)					平成21年度(2月末現在)					比較(計)	
	センター (件)	東部 (件)	西部 (件)	メール (件)	計 (件)	センター (件)	東部 (件)	西部 (件)	メール (件)	計 (件)	増減数 (件)	増減率 (%)
一般相談	843	481	659	8	1,991	(1,123)	(704)	(833)	(11)	(2,671)	△463	△18.9
専門相談	79	—	—	—	79	(104)	(—)	(—)	(—)	(104)	△17	△17.7
合計	922	481	659	8	2,070	(1,227)	(704)	(833)	(11)	(2,775)	△480	△18.8
DV関係 (再掲)	20	4	0	0	24	(28)	(8)	(2)	(1)	(39)	△15	△38.5
一般 相談	18	4	0	0	22	(22)	(8)	(2)	(1)	(33)	△11	△33.3
専門 相談	2	—	—	—	2	(6)	(—)	(—)	(—)	(6)	△4	△66.7

※一般相談 …… 家族・人間関係等

専門相談 …… 法律・心理・男性等

DV関係 …… 一般相談及び専門相談の再掲(内書き)

( )は、前年度の3月31日現在

25 活動・交流の支援の概要

(1)事業実施概要

ア 施設設備の無料提供 ①交流サロン ②ミーティング室 ③印刷作業室 ④子ども室

イ 団体活動への支援 ①交流・情報交換の機会の提供 ②団体ボックス ③施設利用補助

ウ 男女共同参画活動支援補助金（事業公募）により、普及啓発事業及び関連事業で先駆的な取組みを行う団体に助成

エ よりん彩学びのサロン 市町村担当者が男女共同参画に関する理解を深め、担当業務に関する情報交換ができるネットワーク構築の場を提供

- ・第1回 (4/16)
  - 学習会「5年ぶりの意識調査結果から読み取れること」
  - 情報及び意見交換会
  - 参加者数 11名
- ・第2回 (6/5)
  - 講座及びワークショップ「企画力を磨くセミナー」
  - 県民企画による人材育成協働事業事前講座との連携講座
- ・第3回 (7/29)
  - 事例発表
    - 米子市「寸劇で裾野拡大～うち家は上を下への大騒ぎ～」
    - 湯梨浜町「街頭でのチラシ配布について」
  - グループワーク「実演：寸劇を使った研修」
  - 参加者数 10名
- ・第4回 (8/25)
  - 講義「男女共同参画のいままでとこれから～知っておかなければいけない基礎知識から最新情報まで～」
  - 講義「鳥取県の男女共同参画の状況」
  - 分科会
    - 第1分科会「自治体の取組の現状と課題」
    - 第2分科会「男女共同参画を推進する人材育成について」
  - 平成22年度男女共同参画基礎研修との連携講座
- ・第5回 (11/4)
  - 講座「男女共同参画のホントの基礎講座」
  - 演習「男女共同参画のよくある誤解に論理的に答える」
  - 情報及び意見交換会
  - 参加者数 12名
- ・第6回 (2/10)
  - 報告「条例・プラン策定後の活動状況について」
  - ワークショップ「男女共同参画社会をすすめていくための有効な取組について」
  - 情報交換等
  - 参加者数 6名

(2)よりん彩ネット利用者数

平成23年2月28日 現在

区 分	平成22年度(2月末現在)				平成21年度(2月末現在)				増 減			
	東部 (人)	中部 (人)	西部 (人)	計 (人)	東部 (人)	中部 (人)	西部 (人)	計 (人)	東部 (人)	中部 (人)	西部 (人)	計 (人)
個 人					(18)	(21)	(10)	(49)				
	17	23	21	61	18	21	10	49	△1	2	11	12
団 体					(35)	(66)	(15)	(116)				
	35	67	15	117	35	66	15	116	0	1	0	1
計					(53)	(87)	(25)	(165)				
	52	90	36	178	53	87	25	165	△1	3	11	13

※平成16年8月31日までは、団体のみ(利用登録制度)。

( )は、前年度の3月31日現在

26 鳥取県男女共同参画推進員申出（平成21年度処理状況（概要））

(1) 鳥取県男女共同参画推進員（五十音順）

氏名	職業	住所
落合 潮（おちあい うしお）	大学名誉教授	米子市
田中 俊一（たなか しゅんいち）	元会社役員	鳥取市
谷本 静枝（たにもと しずえ）	人権啓発関連施設所長	倉吉市
濱田 由紀子（はまだ ゆきこ）	弁護士	倉吉市

任期：平成21年4月1日～平成23年3月31日

①申出処理件数（平成23年2月28日現在）

区分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
処理件数	前年度繰越	0	0	0	0	1
	新規申出	1	2	2	2	1
	合計	1	2	2	2	2
	次年度への繰越	0	0	0	1	0
	審査中					1
審査結果	勧告	0	1	0	0	0
	意見公表（助言）	1	1	2	1	1
	棄却	0	0	0	0	0
	却下	0	0	0	0	0
	合計	1	2	2	1	1
	審査中					1

※審査結果件数：申出の一部について勧告、意見公表したものは、それぞれの区分に含む。

②申出処理状況（平成23年2月28日現在）

ア 平成21年度第2号申出

〔消防士・警察官の採用や募集に関する苦情〕

申出内容	処理経過	審査結果概要
<p>①消防士の採用について、女性は出産等のために男性より不利な状況がありはしないか。</p> <p>②警察官の採用試験（大卒）が男性は2回あるのに対し、女性には1回しかなく、警視庁や他県の採用試験との併願も認められていないのは不公平である。</p>	<p>平成21年8月4日受付</p> <p>○第1回推進員会議（8/21） ○第2回推進員会議（9/11） ○第3回推進員会議（10/26） ○第4回推進員会議（11/9） ○第5回推進員会議（12/14） ○第6回推進員会議（1/25） ○第7回推進員会議（2/26） ○第8回推進員会議（3/8） ○第9回推進員会議（3/26） ○第10回推進員会議（4/11）</p> <p>審査結果概要決定 ○審査結果最終決定（4/20） ○意見公表、県関係機関へ審査結果通知（4/22） 同日、県警察本部警務課への趣旨説明及び意見交換 ○西部消防局総務課への趣旨説明及び意見交換（5/11）</p>	<p>意見公表 平成22年4月22日</p> <p>①県内における女性消防士は、平成17年度、平成19年度に中部で採用された3名のみであり、東部・西部での採用実績は0の状態が続いている。各消防局においては、消防職への女性の参画を推進するために、募集・採用について、より一層の広報と女性が働きやすい職場環境の充実を望む。また、消防局職員の意識啓発のための男女共同参画研修が行われるよう期待する。</p> <p>②県は、警察官の募集・採用について、男女共同参画社会の基本理念や男女雇用機会均等法、また警察改革要綱の趣旨を踏まえ、女性の積極的な採用とともに、女性の職域拡大を図っていくことを望む。</p> <p>③県は、警察官A（大学卒業又は大学卒業見込みの者対象）採用試験を、男性と同じく女性も2回実施することを望む。</p> <p>④県は、他県の採用試験との併願が女性にも認められるよう、他県へ働きかけることを望む。</p> <p>⑤県は、警察職員の人権意識を高めるための啓発研修を実施することを期待する。</p>

イ 平成22年度第1号申出

〔審議会委員等以外の県の関与する実行委員会等の委員及び社会福祉協議会の役員の男女比に関する苦情〕

申 出 内 容	処 理 経 過	審 査 結 果 概 要
<p>①審議会委員等以外の県が関与する実行委員会等の委員や社会福祉協議会の役員は圧倒的に男性が多く、女性が少ないのではないかと。</p> <p>②県は、委員会等への女性登用の意義や男女共同参画の必要性を県以外の機関等へ積極的に広報するとともに、積極的改善措置を働きかけるべきである。</p>	<p>平成22年9月2日受付</p> <p>○第1回推進員会議 (9/3)                      ○第2回推進員会議 (10/5)                      ○第3回推進員会議 (11/2)                      ○第4回推進員会議 (12/7)                      ○第5回推進員会議 (1/14)                      ○第6回推進員会議 (1/18)                      ○第7回推進員会議 (1/29)                      ○第8回推進員会議 (2/8)</p>	<p>審査中</p>

27 意見、要望等           なし